

水すいえん焰

第 13 号

2010. 6

鶴岡協立リハビリテーション病院
広報委員会

〒997-0346

山形県鶴岡市上山添字神明前38

TEL0235-78-7511 FAX0235-78-7515

<http://www.turuoka-kyoritu-hp.or.jp>

E-mail:smcrh_ga@yamaikyoo.or.jp

理念

障がいがあっても人間としての尊厳をもって生きることを
支援するリハビリテーション医療・介護をめざします。



ハーモニカ ボランティア「そよ風」の
みなさんによる演奏です。
季節を感じることでできる心地よい
時間を過ごしました。



新入職員紹介

今年も新しい職員を迎えることができました。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

紹介項目

- ① 出身地
- ② 職業選択理由
- ③ 抱負
- ④ その他なんでも



遠藤 瑞希 理学療法士
リハビリテーション室

- ① 米沢市
- ② 中学の部活で膝を怪我した時、理学療法士の方に出会い、部活動に復帰できた時から興味を持ち理学療法士を目指してきた。
- ③ 理学療法士として働くことができ、すごく嬉しい。相手の気持ちを考えられる優しい療法士を目指して、明るく楽しく頑張りたい。毎日を大切にしていきたい。
- ④ 趣味は読書、料理、スポーツ観戦。



井田 香織 理学療法士
リハビリテーション室

- ① 天童市
- ② 高校の時の老健施設での実習で、身体機能の低下で歩行困難や寝たきりの方をみて、自分でも機能回復に向けて何かできないかを考え、理学療法士を目指そうと考えた。
- ③ 患者さんに不安を与えないよう先導し、楽しくリハビリに取り組めるよう明るく笑顔で対応したい。
- ④ 買い物と映画鑑賞が趣味。



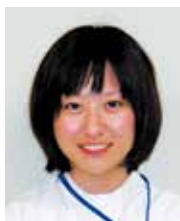
大場 宏太 理学療法士
リハビリテーション室

- ① 鶴岡市
- ② 母が怪我をしてリハビリするようになり、その様子を見学した時、リハビリの素晴らしさを知り、この職業を目指した。
- ③ 夢だった理学療法士として社会人の一歩を踏み出すことができ、不安でいっぱいだけれどチャレンジするという希望で満ち溢れている。先輩の指導の下、日々精進し早く戦力となれるよう頑張りたい。



佐藤 みほ 作業療法士
リハビリテーション室

- ① 鶴岡市
- ② 祖母がこの病院に入院していた時、明るい雰囲気でのリハビリを受け、日を追うごとに回復していく姿をみてこの職業を選んだ。
- ③ 思いやる気持ちを忘れず、丁寧に仕事を行い、患者さんに信頼していただける、また笑顔で前向きに頑張っていける療法士になりたい。
- ④ まず自分で調べ、それでも分からない時



水戸 絵里加 言語聴覚士
リハビリテーション室

- ① 北海道
- ② 高校の頃看護体験をした時、言語聴覚士という職業を知り、興味関心を持ち、コミュニケーションで困っている方と一緒にリハビリを頑張りたいと思った。
- ③ 患者さんの立場に立って考え行動し、問題の核心を見極め全力でサポートできるよう、また学習を怠らず知識や技術を磨き、新しい環境になれ元気に笑顔で頑張りたい。



石黒 達郎 言語聴覚士
リハビリテーション室

- ① 新潟市
- ② 実家が床屋で幼い頃から人と話す機会が多く、人と関わり合いながらコミュニケーション障害を改善する言語聴覚士に興味を持った。
- ③ 構音障害、失語症、嚥下障害の患者さんを担当することになるが、進んで学会や研修会に参加し先輩の指導のもと知識、技術の向上を目指したい。

新入職員向けのオリエンテーションも行われ、当院の施設利用規則に始まり、病院理念・組織機構、メンタルヘルス、医療安全・感染対策が説明され、最後に院長より当院の歴史が話され、困難な中で常に新しい課題にチャレンジし発展してきた熱い思いが伝えられました。

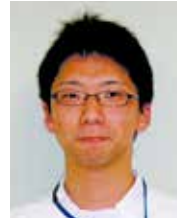


オリエンテーションの様子



志田 沙祐美 理学療法士
リハビリテーション室

- ① 鶴岡市
- ② 中学で理学療法士のことを知り、その時から目標にしてきた。とても前向きで明るい職業だとあこがれてきた。人が生きていく上で必要な基本的機能の獲得を支援する職業であることが魅力でやりがいのある職業だと思っている。
- ③ 責任を持って自分のやるべきことを頑張りたい。



佐藤 巨 理学療法士
リハビリテーション室

- ① 鶴岡市
- ② 祖母にマッサージをすると「ありがとう」といわれるのが嬉しくて医療に関心を持ったこと、中学の時怪我で辛い思いをし、同じ苦しみを持つ人の手助けをしたいとこの職業を選んだ。
- ③ 今できることを精一杯頑張り早く独り立ちできるように頑張りたい。



金丸 明香 作業療法士
リハビリテーション室

- ① 鶴岡市
- ② 高校の頃作業療法を見学した時、患者さんに合わせて色々な方法で訓練していることを知り、幅広い視野でリハビリができるのではと思いこの職業を選んだ。
- ③ 学校で学んだことを生かせるよう向上心をもって作業療法士として成長していきたい。患者さんや家族の気持ちを考えられる療法士になりたい。
- ④ 笑顔を忘れず頑張りたい。



板垣 紳太郎 作業療法士
リハビリテーション室

- ① 酒田市
- ② 祖母が脳血管疾患で倒れ、言語障害で会話が困難になり、幼い頃遊んでくれた祖母に何かできないことがないかと、リハビリのことを調べ、この職業を目指した。
- ③ 社会人としての自覚と責任を意識して仕事をしていきたい。患者さんが退院後も「活力」をもって生活できるように頑張りたい。



木村 詔一 介護職
3 病棟

- ① 鶴岡市
- ② 将来の両親の介護、高齢社会に向かう中で介護保険の仕組みを知りたくてこの職業を選んだ。
- ③ これまで介護事業所のみでの勤務だったが、病院という場での介護サービス、介護職員の専門的なサービスを提供していきたい。



本間 愛季子 介護職
3 病棟

- ① 鶴岡市
- ② 祖母が入院し、医師から「寝たきりになるかもしれない」と言われた時、少しでも祖母の世話ができるようになりたいと思い介護職に関心を持った。
- ③ 早く仕事に慣れ、患者さんに信頼されるよう一生懸命頑張りたい。

新人・異動者発表会

3月末に、恒例の新人・異動者発表会が3回にわたって行われました。2009年度の対象者は25名でした。どの報告も、動画の使用など視覚的理解への工夫もあってとてもわかりやすく、年々レベルアップしているように感じます。

症例発表は、患者さんへのアプローチの全体像を振り返り、目標設定や介入方法について検証することができるほか、先輩同僚職員からの指摘やアドバイスは多くの気付きをもたらし、学ぶことができます。参加した職員にとっては、「新人・異動者の発表から、学

びを共有する」機会ともなります。今回の発表会はこうした目標を達成できた機会となりました。

患者さんへのかかわりを通して学んだことを看護やリハビリ技師の視点でまとめ、いずれも患者さんとの関わりを振り返り、悩みながらもよりよい方法をさぐりながらアプローチした内容が報告され、さらにより看護・ケア・リハビリを提供できるよう活発な意見交換が行われました。今年入職した職員が一年後にどのような発表ができるか、成長が楽しみです。



第4回 摂食嚥下研修会

4月24日（土）に、当院主催の第4回摂食嚥下研修会が出羽国際荘庄内村を会場に実施されました。当日は、庄内全域より、医療機関や介護事業所の職員が参加し、実技講習と講演に熱心に参加しました。

実技講習には96名が参加し、10のグループに分かれて、摂食嚥下委員会のメンバーのレクチャーと指導のもとで、ポジショニングや食事介助の方法、嚥下訓練の仕方など、参加者が介護を受ける側になりながら実践的に学びました。各リーダーは日頃の業務を踏まえて、自信を持って分かりやすく説明し、現場に即した指導で、参加者にも大変好評な講習となりました。



後半は、福村先生と管理栄養士の渡部科長が嚥下障害と、嚥下食についてそれぞれ講演し、栄養科で作った様々な嚥下食を實際目で見、感触をつかむなどもあり、大いに役立つ内容でした。

福島の医療機関からの参加や、日本海病院、鶴岡病院、三川病院など初めて参加する病院もあり、広がりを見せた研修会となりました。

福島の医療機関からの参加や、日本海病院、鶴岡病院、三川病院など初めて参加する病院もあり、広がりを見せた研修会となりました。

発行が遅れておりました「水焰13号」を発行いたします。

今年度は診療報酬改定の年に当たります。当院でも新たな業務を行うための部門間調整を行い、対応をすすめています。今回はこれらの取り組みを一緒に進めていく新しい仲間を紹介させていただきます。新年度の慌ただしさも一段落し、いよいよ病院方針の実現に向けた取り組みが本格化します。

今改定では「地域連携」に関する取り組みが評価されました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

